

子供たちの街頭での安全確保の ために保護者が注意すべき事 項、

ピール郡警察の係官は子供たちの、学校ならびに街頭での安全を確保するためには、保護者による手立てが重要であることを強調している。

以下は、子供たちの安全を確保するための注意事項である。

- * 子供が誰と、どこで遊ぶか、またどの経路を通してそこに行くかを知っておこう。
- * 子供たちを、周囲の監視がない車中、公園、公衆便所、アリーナ、モールないしはプラザで放置しないこと。
- * 子供たちに、面識がなくても助けを求めること出来る人(警官、消防隊員、救急隊員など)以外には、見知らぬ人と同行しない、何かをもらったり受け取ったりしない、話をしないように教える。
- * 助けを求める方法や場所をしっかりと教える。別れ別れになったり、迷子になった場合には、助けを求めても安全な人を探るか、公衆電話を見つけて9-1-1するように教える。
- * 子供が脅された場合、どのように応酬するかを、あらかじめ場面を想定して教える。
- * 子供たちの体は、子供たち自身のもの。水着で隠れる部分は、どんな人も触ってはならないことを教える。もし触った

り、触ろうとする人がいたら、すぐに話すように言おう。

- * 子供が緊急事態になった場合必要になるものをひとまとめにしておこう。必要になる情報として、緊急時の電話連絡番号、親の仕事場の電話番号、医療関係の情報、公衆電話使用のための硬貨なども忘れぬように。
- * 誰かが不快な事をした場合、それをすぐに話すよう子供に教えよう。子供が、気になることを伝えた場合、それをきちんと聞くようにし、子供の味方になって話を理解するようにしよう。

以下は、保護者のためのガイドラインだ。

- * 学校への送迎では、バスの駐車場まで同行しよう。
- * 子供が単独行動をとらないですむように、子供のグループ作りを手伝おう。子供たちには少なくとも2人以上のグループでの行動をさせよう。
- * 緊急の場合を考えて、学校に出迎える人物を事前に、子供が良く知っている人物に決め、登録しよう。
- * 子供を引き渡す人物のリストを学校が持っているようにしよう。学校以外でも、託児所、水泳教室その他の場合も同様にしよう。
- * 子供の衣服や弁当箱などの持ち物につけた名札で、子供の名前が判明しないようにしよう。見知らぬ人が名札を読んで、知ったふりをする可能性がある。
- * 家に、子供の最近の写真ならびに詳細な情報、たとえば身長、体重、傷跡などの状況をファイルして保管しておこう。多くの警察署は、子供の個

人認識情報記録セットを無償で提供してくれる。

- * 子供と離ればなれになったり、行方不明になったと思っても慌ててはいけない。商店やモールにいる場合、近くの案内所に行くか、警備員詰め所に行こう。
- * 特定の人を嫌うようになるとか、食欲減退、早引け、攻撃的になるといった子供の行動の変化が、子供にとって何かを意味する場合が多いので、見落とさないようにしよう。

ピール郡警察には数多くの、学校や一般人が行う子供たちの教育ないしは保育援助を行う部署がある。更に詳しい、危険の予防に関する情報はウェブサイトの[Crime Prevention]ページを参照されたい。

青少年教育局ならびに子供安全村は、ピール郡保険局、ピール郡教育委員会、ダッフアリン・ピール カソリック教育委員会と協同して活動している。

幼稚園から第8学級までを対象とする、街頭での安全などの安全に関する説明のために係官が派遣される。更に詳しい情報ないしは説明要請についてはウェブサイトの[Youth Education]ページを参照されたい。

ことではないが、被害を防ぐためには致し方ない安全策であり、実行すべき事でもある。

なお、いくら子供がかわいいと言っても他人である場合、社会が求める自制も十分考慮する必要がある。

JSS 説明

子どもに対する犯罪は多様であり、網羅することは簡単ではない。一方、子どもを狙った犯罪はきわめて卑劣であるが、後を絶たない犯罪でもある。

子どもに、特定の人を除いて全ての人を疑えと指示することは、けっして気分の良い